

子ども真ん中の学校

～かがやく海が見える丘よい～

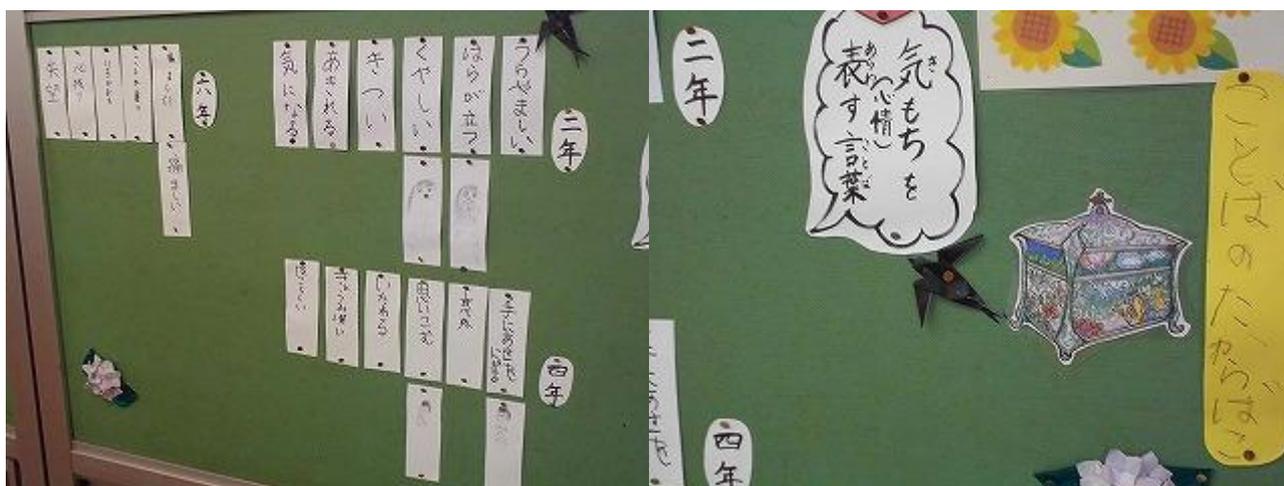
令和6年7月17日
長崎市立畝刈小学校
学校だより NO. 41
校長 田中 成年

＜子供たちの心を育てる＞

～気持ちや行動を表す言葉～

今では数少なくなりましたが、「死ね」「消えろ」「殺す」「うざい」などの**二文字言葉**や**三文字言葉**が畝刈小学校の子供たちの中で多く聞かれました。しかしながら、今ではほぼ聞かれなくなったような気がします。保護者や地域の皆様が学校と足並みをそろえて子供たちに接していただいているからだと思います。ありがとうございます。

学校としては、全職員が「品」「CCQ」(Calm (おだやかに)、Close (近づいて)、Quiet (静かに))の頭文字を取ったもので、このようなコミュニケーションの取り方を意識した日々の丁寧な言葉かけを行い、子供たちの成長を支えています。



ひまわり3組の掲示板です。「ことばのたからばこ」とあります。

子供たちは生まれてからたくさんの言葉を学んできましたが、**その環境によって大きく異なる**ことはお分かりかと思います。学校のいいところは、共通して同じ内容のことを子供たちに教えることができる「**学びの集団**」であることだと思います。

国語科を中心とした言語活動はもちろんのこと、道徳科を中心とした心を育む教育活動さらにそれを高め習慣化するための特別活動等、その他教育活動全般で子供たちを育てています。気持ちや行動を表現するための「言葉の力」を育むことはとても大切だと考え日々教育活動に取り組んでおります。

子供だから間違っただけをしたり言ったりして、友達を傷つけたりすることがあるのは当然です（もちろん、やっていいことではありません）。私たち大人も子供のころは間違いを繰り返すなど、今の子供たちと同じことをしてきたと思いますが、今はこうやって人の気持ちを察したり、傷つけたりしないような行動ができています。

周囲の大人が支え、正してくれたおかげです。

子供たちが**気持ちや行動を表す言葉を豊富にもつ**ことで、**自身の気持ちや行動を言葉でしっかりと表現することができる**ようになります。

そのためには、**家庭や地域、学校がそれぞれの役割を果たし**ながら子供たちに言葉や行動の仕方を教え、育ちを支えていく必要があります。

今後とも子供たちの「心の成長」をともに支えていただきますよう、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

<つづやき>

【学校での取組】を、あらためて紹介します。

○「品」のある言葉遣い、品格教育に取り組んでいます。

○「CCQ」（Calm（おだやかに）、Close（近づいて）、Quiet（静かに）の頭文字を取ったもので、このようなコミュニケーションの取り方）について、取り組んでいます。

○「表情豊かに」子供たちを育てることを心がけています。

「褒める」「伝える」気持ちを伝えるときに表情はとても大切です。